

2022年度は慶讃法要勤修年度となることや、10月8日に「教区お待ち受け大会」が開催されることもあり、各部門においては「慶讃テーマ」を盛り込んだ事業計画や、委員が継続的にテーマを学ぶ場を設けるなど、事業内容として示されている。

この事業報告及び事業計画は、今月開催の教区会及び教区門徒会を経て、来月発行の『三重教報』（第84号）に掲載する予定。

## ○ 教化推進総務会

- ・ 6月11日に「新任住職・新教師歓迎懇話会」を開催した。コロナ下の為、3年ぶりの開催となり、対象者26名中12名の参加があった。

参加者及びスタッフの自己紹介の後、今回は特に新教師に向けて、教区の青少幼年活動や教学研究室の事業内容を中心に紹介した。その後、住職班と教師班に分かれて座談会を行った。

住職班では、「新しく住職になり、前住職との関わり方に悩んでいる」など、普段なかなか聞くことのできない事柄について話をする事ができた。座談会を行う中で、参加者からは「このような場は、もっとたくさん必要ではないか」との意見もいただいた。この懇話会は、隔年開催とするため、次回は2023年度に開催する予定。



座談会の様子

- ・ 6月17日に会議を開催し、6月23日開催の教化委員会総会に向けて、総会の資料の確認を行った。

## ○ 特伝推進本部

- ・ 5月31日「東海連区同朋の会交流研修会」が三重同朋の会推進連絡協議会（略称：教区同推協）主催で開催された。講師は三浦 崇氏（員弁組覺通寺前住職）、テーマを「宗憲前文に聞く大谷派なる精神」とし、55名の参加者が7班に分かれての班別座談会を含め熱心に受講された。
- ・ 6月2日臨時会議をオンラインで開催、5名参加。2021年度事業報告、2022年度事業計画、『第12次特伝実施要項』について協議。
- ・ 6月8日「座談会学習会」（講師：三橋尚伸氏）を対面・オンライン併用で開催。「座談を再考してみましよう」をテーマに、特伝実施中の第3ブロック（長島組5名、三講組2名、四日市組2名）、準備中の第4ブロック（中勢二組5名、南勢二組1部7名、南勢二組2部1名）本部員7名が参加。講義と模擬座談が繰り返され、特に「説教者・指導者から聴き手への転換」「敬聴（話し手への敬意）」を中心に「信頼関係の構築」「受容」「オウム返し」「反射」「感情の明確化」等の重要性を確認した。
- ・ 6月14日オンラインで月例会議を開催、9名参加。『第12次特伝実施要項』、2021年度事業報告、2022年度事業計画を協議し、確定した。

## ○ 寺族門徒研修小委員会(育成員研修会開催)

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止が続いた「育成員研修会」を5月26日(木)、27日(金)の2日間にわたり、梶原敬一氏(真宗大谷派教学研究所 元囑託研究員)を講師にお迎えし、「僧伽に召される一同朋会運動の願い」をテーマに、41名の参加者のもと、3年ぶりに開催した。

2日間の講義を通して「念仏は悲しみが人と人を繋ぐ糸であること、そしてそのことを通じて社会に力を与える教えである。今こそ念仏の声を社会に届けなければならない。同朋会運動とは、教団の問題にとどまらず、社会全体の中で、人と人との繋がりを回復していく運動である。宗教者が宗教者としてのコンプレックスを克服することが課題であり、伝えていく「情熱」が大切である」と教えていただいた。2日目の講義終了後、12名の住職・坊守物故者追弔会を勤修して閉会した。



梶原敬一氏

## ○ 社会教化小委員会

・6月13日に会議を開催した。協議内容は「2021年度事業報告」及び「2022年度事業計画」について。当委員会は、①公開講座、②テレホン法話、③ジェンダー問題に関する学習会の事業を3本柱として開催しているが、次年度も同内容にて計画する。公開講座は、佐野明弘氏に3年間連続で講師をお願いしたが、次年度においては、別の講師をお願いし、連続してお願いしていくかは今後の検討となる。テレホン法話については、今年度奨励用ポスターを作成し、聴取回数が増えたことから、次年度においてもポスターを作成し、更なる奨励を行う。ジェンダー問題に関する学習会については、公開講座と併せて、委員間の学びの充実を図る。

## ○ 青少年教化小委員会

・6月16日(木)に三重同朋会館で総会を行った。慶讃法要お待ち受けスタッフ全体会の所感をいただいたが、一同不安な声が上がった。今後は部門毎の会議をしながら報告し合いたい。年度末なので各部門から総括と計画の聞き取りをしたが、お互いが横のつながりをもう少し意識していけるといいと感じる。来年度花まつりの開催について協議したが、開催形態については今後も検討していく。次回は9月2日(金)13時半より座談会、9月8日(木)13時半より会議を三重同朋会館にて行う。

## ○ 教学研究室

・5月19～20日公開講義「『浄土論註』概論」を講師に山田恵文氏(大谷大学非常勤講師、三重組安正寺住職)を始めてお迎えし開催。一般受講者4名、研究員9名が参加。講義、攻究・座談にて研鑽を深めた。次年度以降、山田氏に継続して講義を頂く予定。  
・6月9日に月例会が対面・オンライン併用で開催され研究員9名が参加した。藤嶽室長から3回目の『観経疏・序分義』「厭苦縁」講義を受けて質疑応答、座談が行われた。

- ・ 6月22日『聖典基礎講座』を講師に高柳正裕氏（学仏道場回光舎舎主）を迎え「親鸞聖人、そして親鸞聖人が遇われた七高僧に遇う— 真実の自己・世界に遇う」を一貫テーマに4年間通算18回（最終回）を対面、オンライン併用で開催。29名が受講した。次年度からは同氏を講師に『一念多念文意』を講本として連続して開催の予定。

## ○ 教区坊守会

- ・ 6月1日（水）、柿安シティホールの下見後、『坊守会だより』の編集会議を行った。
- ・ 6月15日（水）、「真宗門徒の集い」を柿安シティホール（桑名市民会館）で開催した。講師は荒山 信氏（名古屋教区恵林寺住職）。講題は「凡夫の上に開かれる魂」。今回の開催より名称を「真宗門徒女性の集い」から「真宗門徒の集い」に変更し、男女問わず参加者を募集した。当日は98人の参加をいただいた。
- ・ 次回は7月5日（火）午後1時から総会の事前準備と役員会。
- ・ 委員会は7月19日（火）10時から開催し、総会は午後1時から開催する。

### 2022年度 教区坊守会総会の開催について

2022年度教区坊守会総会を次のとおり開催しますので、教区内坊守会員の皆様におかれましてはご参加くださいますようお願いいたします。なお、正式な案内については、7月上旬頃に各寺院へ送付します。

◎日 時 2022年7月19日（火）13：00～15：30

◎場 所 三重同朋会館3階講堂

◎日 程 13：00～ 開会、挨拶

記念講演 海野 真人 氏（中勢2組法因寺住職）

慶讃法要テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたこと  
の意味をたずねていこう

14：30～ 総会（事業報告及び決算、事業計画及び予算の審議）

15：30 閉会（予定）

## 事務見習の教務所実習について

6月14日から7月26日まで、今年、宗務所へ入所した新入職員が三重教務所で教務所実習を行っています。

名前は、藤本千紘（ふじもと ちひろ）です。

所属寺は 京都教区 因伯組 本教寺 です。

教務所にお越しになられたときは、声を掛けてくださいね。



## ○ 書籍のご案内

### 『親鸞聖人の娘 覚信尼と真宗本廟』

上場顕雄 著 真宗大谷派教学研究所 編

定価：495円（税込）

本願念仏の布教に尽力する親鸞聖人を眼前に見て育ち、その入滅まで世話をした娘、覚信尼。

その生涯と人物像、そして彼女が現在の東本願寺（真宗本廟）の起源である大谷廟堂（聖人の御墓所）を建立するまでの経緯を学ぶ入門書。

本廟創立 750 年を迎える今、真宗本廟を根本道場とし、親鸞聖人の教えを脈々と受け伝えてきた真宗門徒の原点を、一人の女性に見出す一冊。



### 『お盆（2022年版）』

【香川秀夫 著 畝部真紀 著】

定価：66円（税込）

真宗門徒が迎えるお盆のひとつのかたちをたずねていく小冊子。

・願われている自分にであう—まさかさかさま—

香川秀夫（四国教区蓮忍寺）

・お盆と私と南無阿弥陀仏と 畝部真紀（岡崎教区願成寺）



## 今月の法語

人は自分の顔が見えないので  
余程 助かっている。

毎田周一（1906-1967）

## 晴耕雨読（教務所員から）

高科駐在

2005年11月（当時43歳）同朋会館の嘱託補導として帰国後の生活がスタートしました。空いている時間は京都・大丸百貨店内の中華レストラン「黄老（オウロウ）」（すでに閉店）で食器洗いのアルバイトをしていたのです。

厨房には屈強な男性華僑調理人6～7名がおられ、中国語が飛び交い、流れるような作業により見事な料理が次々に生み出されます。中華料理は高級になればなるほど一品に対する食器の数が増えるので、洗い場はアツと言う間に食器の山…。「加油、加油、一休さん！（厨房での私のあだ名）加油！」の激励を背に楽しく勤務していました。

嘱託補導の業務に自信をなくし、日本人にも戻れそうにない私にとって「黄老」の厨房は唯一安心できる場所でした。

翌12月中旬「1月9日から大聖寺教区に駐在教導として赴任するように」と当時の組織部長から話があり「駐在教導ってどんな仕事ですか」（私）「ん～、法務のない南米開教使みたいなの、かな」（部長）「人事ってこんなんでいいんですか」（私）「人事ってこんななんんだよ！！（怒）」（部長）

嘱託補導としてコピー機が扱えない、正座ができない。諸殿拝観中、奉仕団と共に遭難する。晨朝中御影堂で高イビキ、宣誓式をすっぽかす等の事件により「浦島太郎じゃねえか。駐在教導なんてとんでもねえ話だ」（補導主任）。



ブラジルでのひととき

泣きたいような気持で先輩に相談すると、元研修部長の堀尾祐昭氏に連絡することを勧められ、一面識もないにも係わらず、若狭の西恩寺に電話をしました。堀尾氏は「事情は分かりました。明日この時間にもう一度お電話ください」とのこと。

翌日「高科さんはうちの婿殿（訓覇 浩氏）と同級生だったのですね。よろしく。駐在教導になられたら先頭に立って聞法なさってください。そして教区の方々からお育てをいただいでください。」と背中を押してくださいました。

1月9日、家族に見送られ「この愛する家族を路頭に迷わすわけにはいかぬ」と不安と焦燥感に足をもつれさせながら京都駅に。雪深い北陸へサンダーボードでの移動中、頭の中では石川さゆりの「津軽海峡冬景色」がエンドレスで鳴り止みません。

こっそり途中下車して逃げ帰りたい気持ちの中、なんとか加賀温泉駅に到着。「高科さんですか、お迎えにまいりました」と声をかけてきたのは啞えタバコ、サングラス、太いストライプのダークスーツ、靴はバリー、白のボルボ・ステーションワゴンに乗った、反社勢力若頭風の村井英俊大聖寺教務所主計（当時30歳）でした。（村井さんゴメン）

波乱の幕開けです。

（高科ヨレヨレ駐在誕生譚より）



日	曜	行事内容
1	金	
2	土	③ 長島組特伝本講座 13:00-(於:善明寺) / 中南勢公開講座 14:00-(於:農業屋)
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	特伝本部会議 13:30-
7	木	同宗連研修会並びに総会 13:30-
8	金	合唱団「ひかり」総会・練習 11:00- / 内務委員会 14:00-
9	土	
10	日	④ 四日市組特伝本講座 10:00-(於:本誓寺)
11	月	
12	火	慶讃法要教区お待ち受け大会本部員・主任会議 14:00-
13	水	教区会参事会 13:30-
14	木	教区門徒会常任委員会 13:30-
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	別院暁天講座(～22日まで)
19	火	坊守会総会 13:00-
20	水	
21	木	教区会(通常会)【予定】13:30-
22	金	教区門徒会(通常会)【予定】13:30-
23	土	
24	日	教区大谷保育研修会 9:30-
25	月	
26	火	同朋ジュニア大会事前研修会(～27日)
27	水	
28	木	
29	金	正副組長会 14:00-
30	土	
31	日	

① ご坊さんだより ②法語ポスター ③テレホン法話冊子『心をひらく43』 ④『坊守会だより』 ⑤坊守講座年間予定ご案内 ⑥「同朋ジュニア大会」開催案内 ⑦合唱団「ひかり」団員募集チラシ ⑧同朋大学企画展チラシ